

三重県の地震活動(平成30年1月)

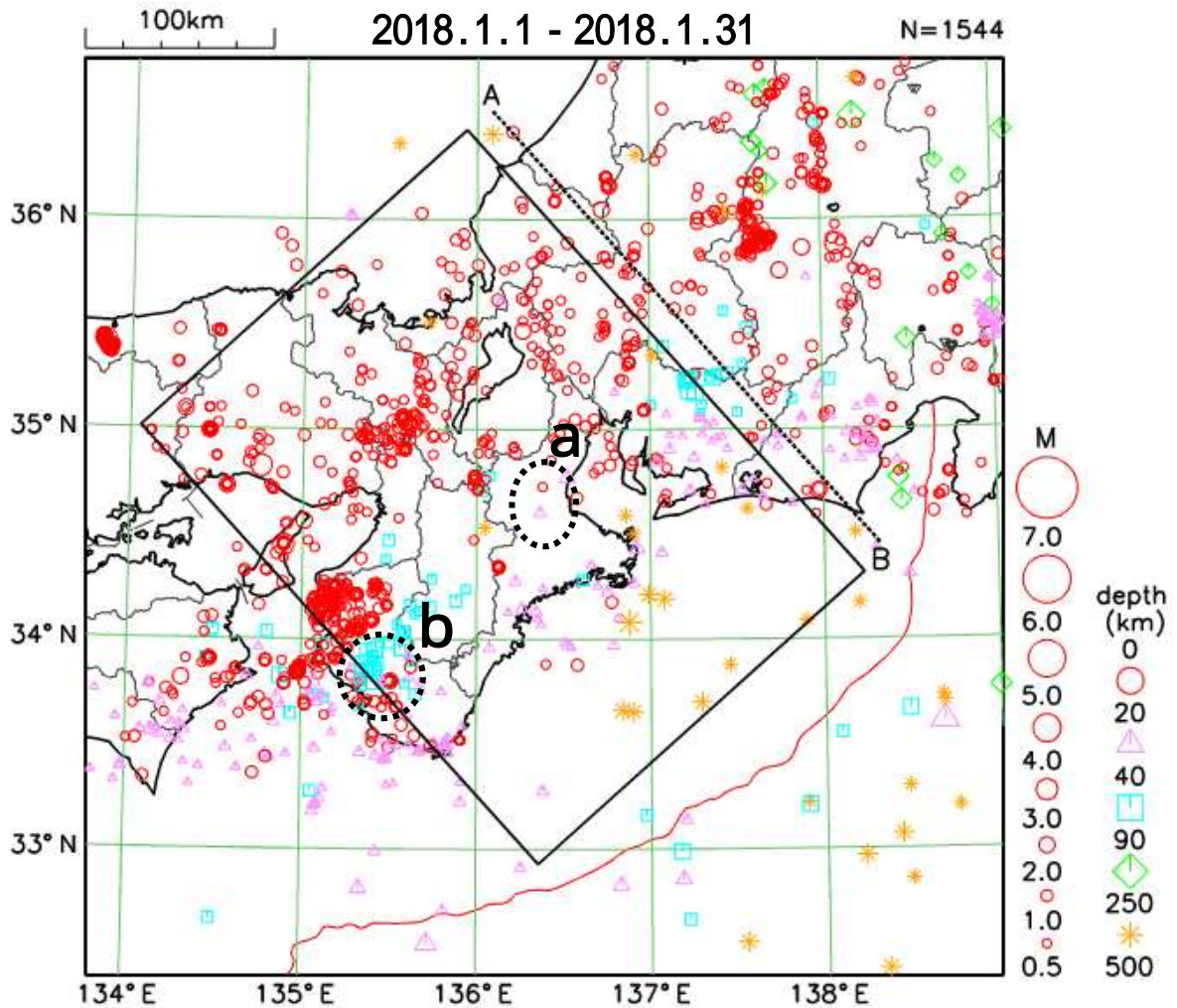
平成30年2月6日
津地方气象台

【概況】

今期間、三重県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

なお、震央分布図中、a、bで示す領域(深さ約30~40km)で深部低周波地震を観測しました(詳しくは【深部低周波地震の観測状況】を参照)。

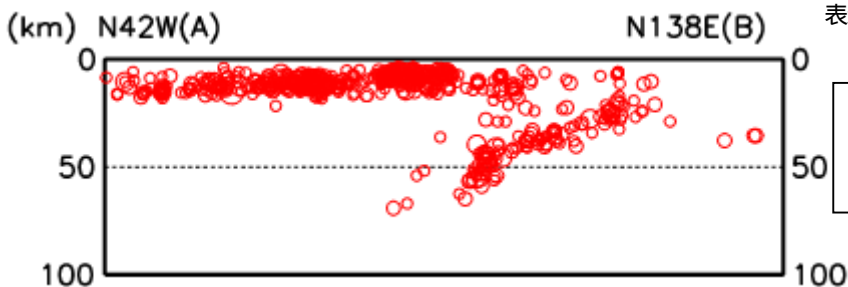
震央分布図



: 深部低周波地震

(この図では震源が精度良く求められたもののみ表示しています)

断面図



左の断面図は震央分布図の四角形内の震源を、A - Bに沿って置いた鉛直スクリーンに投影する形でプロットしたものです。

【過去1年間に三重県内で震度1以上を観測した地震の月別回数表】

平成 29 年											平成 30 年
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
0	1	1	2	4	0	0	2	0	0	0	0

【深部低周波地震の観測状況】

図1中の領域aでは、7、21日に。領域bでは3~5日に深部低周波地震を観測しました。
 深部低周波地震はその地震波形の特徴から震源を精度良く求めることが難しく、震源が震央分布図には表示されないことがあるため、実際はもっと数多く発生していると考えられます。
 図1~図2では、震源の精度がやや劣る地震についても表示しています。

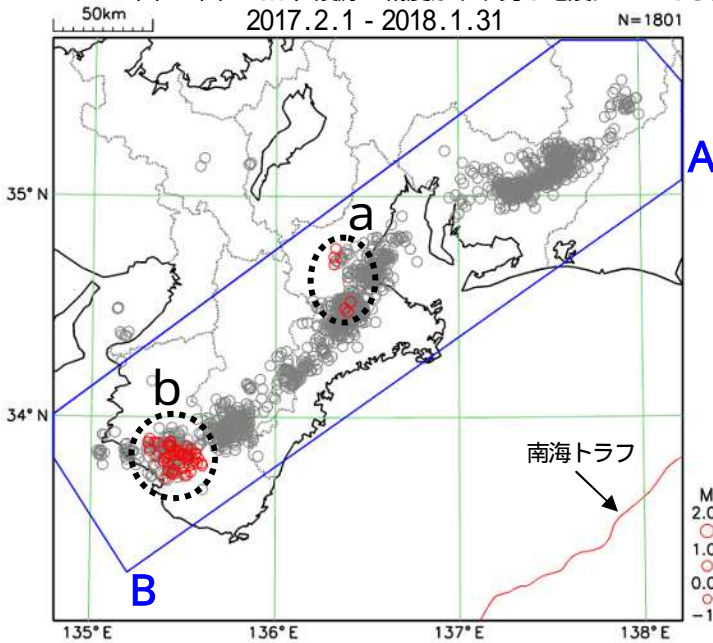


図1 過去1年間の深部低周波地震の震央分布図
 (2017年2月1日~2018年1月31日、深さ0~60km)
 2018年1月に発生した地震を赤色で表示しています。

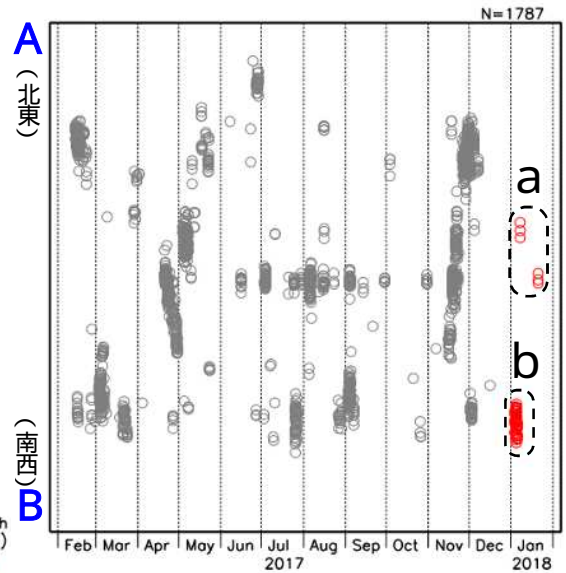


図2 過去1年間に発生した深部低周波地震の時空間分布図
 縦軸：図1中のA Bを投影（概ね北東-南西方向）
 横軸：期間（2017年2月1日~2018年1月31日）

【地震一口メモ】

《地震のとりまとめ資料等の紹介》

あつ地震だ・・・地震による揺れを感じたとき、最も大切なのは身の安全を確保することです。身の安全が確保できた後は、発生した地震に関する情報については、発生後間もなくであれば震度1以上を観測した地震ですとテレビ等で速報が流れますし、気象庁のホームページでも発生した地震の震源や震度の情報（速報）を確認することができます。

今回は、気象庁ホームページに掲載される地震に関する情報と資料の一部を紹介します。

気象庁が地震情報（速報）を発表するとまず次のページに掲載されます。

地震情報のページ

気象庁ホームページ>地震情報・・・最近1週間の地震情報（速報）が確認できます。

<http://www.jma.go.jp/jp/quake/index.html>

大津波警報・津波警報・津波注意報等のページ

気象庁ホームページ>津波情報・・・過去一ヶ月分の発表履歴が確認できます。

<http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>

その後気象庁では、次の地震のとりまとめ資料を発表しています。

「週間地震概況」：金曜から木曜の1週間に発生した地震の概況をとりまとめて掲載しています。

気象庁ホームページ>各種データ・資料>(地震の活動状況)最近1週間程度の活動状況>

>週間地震概況(全国)、各地方版・・・

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/index.html#weekly>

「地震・火山月報(防災編)」：毎月の日本の地震活動・火山活動及び世界の主な地震や火山活動をとりまとめて掲載しています。毎年1月に発行される12月の月報には各年の地震活動・火山活動のまとめも掲載しています。

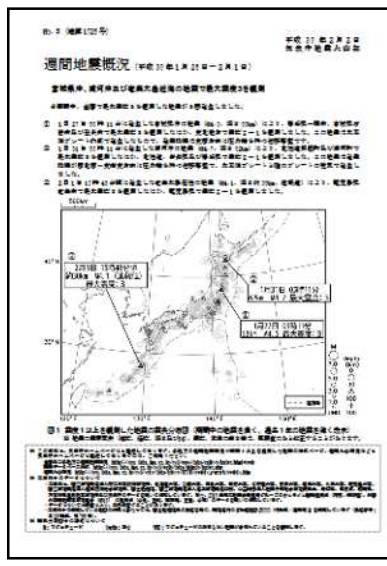
気象庁ホームページ>各種データ・資料>各月の地震活動のまとめ>地震・火山月報(防災編)・・・

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/index.html#monthly>

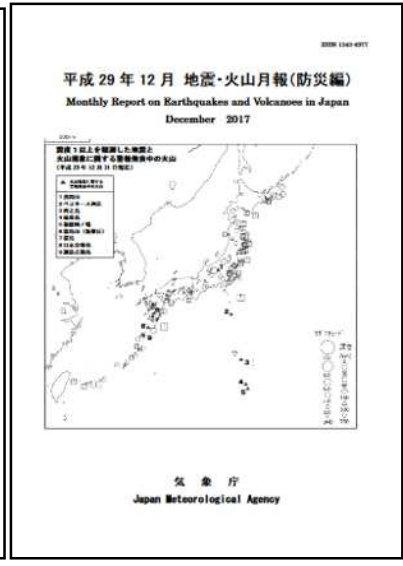
これらの他にも、各地の管区・地方気象台でも各月の地域の地震活動をとりまとめて公表しており、津地方気象台では、「三重県の気象・地震概況」に掲載しています。



地震情報
「各地の震度に関する情報」



「週間地震概況」



「地震・火山月報(防災編)」

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 2016年4月より、震源決定の処理方法を変更しました。そのため以前の震源分布図等と比較して見え方の異なる可能性があります。
- 資料は速報であり、後日の調査により変更されることがあります。
- 資料についての問い合わせ先 津地方気象台 電話：059-228-6818
- この地震概況は津地方気象台ホームページの三重県の気象・地震概況内に過去1年分掲載されています。アドレス：<http://www.jma-net.go.jp/tsu/gaikyo/651/gaikyo.html>